

日本語の場所を表す「デ」と 中国語の場所を表す“在 (zài)”について

廖 郁 雯

はじめに

日本語の「場所」を表す格助詞「デ」「ニ」「ヲ」の用法間の異同については、鈴木・王 (1987) の研究があり、「デ」と「ニ」を中心に、様々な観点からの分析がなされた。その他にも、神尾 (1980)、守矢 (1983)、赤羽根 (1987)、孙 (1991)、中右 (1995 a)、浅山 (2002) をはじめ数多くの研究が行われている。また、日本語の「場所」を表す格助詞と中国語の「場所」を表す介詞について、原田 (1990)、水野 (1988) は対照研究の視点から分析をほどこした有益なものである。

日本語の「場所」を表す上記三つの格助詞は、中国語の「場所」を表す介詞の“在”と対応するのが一般的だと、大まかには言えるであろう。しかし細かく見れば、たしかに日本語の「場所」を表す「デ」は中国語の介詞“在”と対応するのが普通ではあるものの、実際には、「デ」は“在”と対応するのみならず、方向性のある“从 (から)”“去 (~へ行く)”“到 (~まで行く)”“前往 (~へ向かって行く)”などの介詞や動詞とも対応する場合があるのである⁽¹⁾。

また、“在”の位置によって、“在”の品詞が変わり、文の意味も異なってくる。例えば、「彼は台所で料理を作る」という文は、中国語では“他在厨房做菜”に訳される。「台所で」の「で」は「在厨房」の“在”と対応するものであって、「“在” + 場所 (L) + 動詞 (V)」の文型で表される。だが、「彼は東京で生まれた」という例文は、中国語に翻訳すると、“他在东京出生”と“他出生在东京”のような二つの訳し方が可能である。すなわち、この「場所」を表す「デ」は、中国語の「“在” + 場所 (L) + 動詞 (V)」と「動詞 (V) + “在” + 場所 (L)」の二つの文型と対応するものである (以下、場所と動詞をそれぞれLとVで示す)。さらに、“在”が現れない場合さえある。中国語の“在”の有無については、儲 (1996)、王 (1996)、林 (2003)、中原 (2003) などが代表的な研究である。

本稿では、日本語の場所の「デ」が中国語の「場所」の“在”と如何に対応するかについて、先行研究の成果を踏まえながら、収集した実例をより詳しく分析し、独自の考察を行っていきたい。

1. “在”の用法

すでに述べたように、一般的に言えば、日本語の場所を表す「デ」は中国語の介詞“在”と対応する。ところが、逆に中国語の“在”の側から見ると、“在”は日本語の「デ」のみならず、「ニ」「ヲ」に対応することもあり、さらに、それ以外の格助詞に対応する場合さえあるのである⁽²⁾。また、日本語では「デ」「ニ」「ヲ」の形で表されるのに、中国語では“在”が現れない場合もあるなど、互いの対応関係は複雑で決して一筋縄では行かない。中国語の“在”は本来動詞であり、「存在する」または「人あるいは事物が存在する場所・位置」を示すものである。また、動詞のほか、副詞としての用法もあり、この場合も介詞の役割を果たす。このように多様な“在”についての用法は、次のように示すことができる⁽³⁾。

1-1.

動詞として用いられるとき、「存在する」・「生存する／生きている」・「(…が…に)いる／ある」・「参加する」・「属する」などの意味を表す。

1. 文件在桌上 (書類は机の上にある)。(呂ほか1992: 470)
2. 小陈在 书馆 (陳くんは図書館にいる)。(呂ほか1992: 470)

1-2.

副詞として用いられるとき、動詞の前に置き、その動作・行為、あるいは性質・状態が持続し、進行していることを表す。

3. 我 去时, 他在给孩子们讲故事。(张斌2001: 684)
引用者訳: 私が入った時、彼は子供に物語を語っているところです。
4. 时代在前。(呂ほか1992: 470)
対訳: 時代は前進している。

1-3.

介詞として使われるとき、場所を表す場合もあれば、時間及び条件・範囲を表す場合もある。

1-3-1. 「場所」の“在”

「場所」を表す“在”は、次のように三種類に分けられる。

A. (場所詞を伴い、動詞に先行し) 動作の行われる場所を示す。

(田中1986: 44) 「“在” + L + V」の形で表す。

5. 两个兵在桥头上岗。(田中1986: 44)
対訳: 二人の兵が橋のたもとで歩哨に立っている。

6. 在街上 见了一个朋友。(田中1986:44)
対訳：通りで一人の友人に出遭った。

B. 動作の到達する場所や動作の帰着点を示す。「V + “在” + L」の形で表す。この場合の“在”を、田中(1986:44)は「後置介詞」と呼んでいる。

7. いつまでも一つの水準の上に停止している。(田中1986:45)
対訳：永远停在一个水平上。(田中1986:45)
8. マイクロフォンの前に立って、歌を歌い始める。(田中1986:45)
対訳：站在麦克风的前面，开始唱歌。(田中1986:45)

C. 自動詞の前あるいは後に置き、動作の状態・出現・消失する場所を表す⁽⁴⁾。

9. a. 病人在里屋睡着(张2001:685)
引用者訳：病人は奥の部屋で寝ている。
b. 病人睡在里屋。
引用者訳：病人は奥の部屋に／で寝ている。
10. 他在球场上摔倒。(张2001:685)
引用者訳：彼は球场で転んだ。
他摔倒在球场上。(訳文同上)

1-3-2. 「時間」を表す“在”

A. 動作が行われる時間を示す。日本語では時間を表す「に」が文中に現れることが多いのだが、中国語では話し手が意識しないかぎり、時間を表す“在”が文中に現れるかどうかは任意的である。次の(12)～(14)は時間を表す“在”が現れない例文である。ここで、時間を表す“在”が現れない一つの理由が考えられる。それは、場所を表す“在”と時間を表す“在”とが同時に文中に現れるとき、時間の“在”より場所の“在”の方が、比較的に重視されるため、ということである。

11. 专车在下午三点到达。(吕ほか1992:470)
対訳：専用列車は午後3時に着く。
12. 9月9日に各地で開かれる菊祭では、いろいろな色の菊で作られた菊人形が展示されます。(日139)
対訳：9月9日在各地举行的菊祭中，都会展示由五彩缤纷的各色菊花所缀成的菊娃娃。(日138)
13. 十一時にすぐむこうの<リンデン>って喫茶店で待っててちょうだい。そのかわり、昔の話はしっこなし。いいわね。(青65)
対訳：十一点在就近的林典茶店等着，不谈过去，可以吗？(青36)
14. 三十分後にこの公衆電話の前で待ち合わせよう。(青49)
対訳：三十分鐘后，在这个公共电话亭前见面。(青26)

B. 介詞フレーズで、「動詞＋“在”＋時間詞」の形で、補語として用いられる⁽⁵⁾。すなわち、結果補語の役割である。

15. 他生在一个雷雨之夜 (侯1999: 722)

引用者訳: 彼は雷雨の夜に生まれた。

16. 学会建立在1960年 (侯1999: 722)

引用者訳: 学会は1960年に設立された。

1—3—3. 「条件」・「範囲」を表す“在⁽⁶⁾”

A. “在…下”の文に用いられるとき、「条件」を表す。

17. 他在朋友的帮助下解决了目前的困。(张2001: 685)

引用者訳: 彼は友達の助けで当面の困難を解決した。

18. 雪のその日さしの中で、ますます軽く、灰のように漂った。(春448)

対訳: 在阳光下, 雪花越发轻盈得像灰一样飘飘忽忽。(春331)

B. “在…上／中／方面／之外”などの文に用いられるとき、「範囲」を表す。

19. 在质量上, 我认为没有问题。(张2001: 686)

質の上では、問題がないと思います。[引用者訳]

20. 在技术方面, 我们还须加以改。(张2001: 686)

引用者訳: 技術の方面で、われわれはまだ改善しなければならない。

2. 「場所」と「アスペクト」との“在”の重なり

「“在”＋L＋V」の“在”は、動作を行う場所を表すこともあれば、動作の進行・持続性を表すこともある。例えば、「他在看书。(彼は(今)本を読んで)」(中川1990: 222)の“在”は副詞としてアスペクトを表す⁽⁷⁾。

しかし、例(19)のように「流しで食器を洗っている」の中国語の訳文は「在流理台洗碗」となる。この文をさらに細分すれば、“在流理台(流しにいる／流しで～をする)”と“在洗碗(食器を洗っている)”という二文に分けられる。前者の“在”は動作主が居る場所を表す介詞の“在”であり、後者の“在”は副詞として動作の進行・持続を表すアスペクトの“在”である。すなわち、この場合の“在”は、存在を表す“在”とアスペクトを表す“在”との二つの役割が重なっているものである。

19. 私はガスレンジの鍋をかき混ぜているか、流しで食器を洗っている。(博32)

対訳: 我不是在瓦斯炉上搅动锅子里的食物, 就是在流理台洗碗。(博31)

場所を表す介詞の“在”とアスペクトを表す副詞の“在”が重なっている場合について、張(2001: 686)は次のような主張をしている。

副詞“在”不但可以修饰动词, 而且可以用在介宾短语前边。副词“在”如果用

賓短語“在……”の前邊，兩個“在”就合而為一了。如“在國外學習的留學生”含有“正在”的意思，這個意思不是由介詞“在”表示，而是由副詞“在”賦予的。

副詞の“在”は動詞を修飾することもでき、介詞フレーズの句頭に置くこともできる。“在”が介詞フレーズの句頭に置かれる場合は、両者の“在”は一つになる。例えば“在國外學習的留學生（外國で勉強している留學生）”という文では、“在”が“正在（～している）”の意味であり、この“在”の意味は介詞の“在”ではなく、副詞の“在”から派生してきたものである。〔引用者訳〕

つまり、この場合の“在”は、介詞の“在”というより、副詞の“在”から派生してきたものであることを張（2001：686）は主張しているわけである。これをさらに敷衍すれば、「勉強している留學生」という文は、中国語の訳文では「（正）在學習的留學生」となり、「外國で」という場所が明示されていないとはいえ、この場合の「（正）在」には、「勉強している」とともにすでに意味的に存在しているのである。

また、下記の例文では、文中の“正在”は動作を行っている時間副詞であり、もし、“正在”の“正”が省略されて、“在”のみになると、場所を表す“在”と時間を表す“在”の両方が現れ得る。例（20）の場合の対訳を「杏子在櫃台清点書籍的時候，美山出現了」（杏子がカウンターで本のチェックしているとき、美山が現れた）に換えた場合、この“在”は動作の行われる時間を表すことがわかる。

20. 次の日、杏子がカウンターで本のチェックしているとき、美山が現れた。（ビュ147）
対訳：第二天，杏子正在櫃台清点書籍，美山出現了。（美141）

3. 「場所」と「時間」との“在”の重なり

日本語では空間として扱われているものが、対応する中国語の訳文では時間化されて現れることがある。強いて言えば、「場所」を表す“在”と「時間」を表す“在”は重なっていることが考えられるのである。

以下の例文では、「在」＋場所＋“時（～とき）”の形で表すことによって、「場所」も「時間」も表す“在”の意味が含まれている。さらに例（23）の「高校で」の「で」は、中国語の訳文から判断すると、「場所」と「時間」と両方の意味を持つと解し得る。

21. 二十五歳から三年間はアメリカ生活で、その後一年間ヨーロッパを旅し、その四年間は洋食である。ロンドンで漱石のように胃潰瘍になったという形跡もない。（文117）

対訳：从二十五岁开始在美国生活三年之后，又转往欧洲旅行一年，四年当中吃的都是西餐。在伦敦时也不像夏日漱石还得了胃溃疡。（文上95）

22. 大学で研究なさったのは、数学のどんな分野なんですか。（博58）

対訳：您在大学时研究的是数学的哪一个领域？（博57）

23. 中学校を卒業したばかりたちは、高校で再び一緒のクラスになった。（世24）

対訳：从初中毕业后的我们，高中又再次同班。(在25)

4. 「場所の範囲」と「時間の範囲」との“在”の重なり

下記の例(24)は、『基本中国語文典』において取り上げられた、「範囲」を表す“在”の文例である。確かにこの“在”は、「仕事の上で」という「範囲」を表していると言える。

しかし、より細かく分析してみると、ここでは、「仕事」という場所的な意味と同時に、「仕事」のとき、という期間(時間)的な意味をも表していることが出来るだろう。よって、この場合の“在”は、「場所の範囲」と「時間の範囲」との両方の意味が含まれていると考えられるのである。

24. 我们在工作上 到困 的时候, 他们来又帮忙, 又鼓励我们。

対訳：我々が仕事の上で困難にぶつかったとき、彼らが来て、我々を助けたりはげましてくれたりする。(田中1991:45)

25. 名刺は日本では特に仕事の上で重要な役割をはたします。(日169)

対訳：名片在日本, 尤其是在工作上, 扮演着极重要的角色。(日168)

5. 「“在”+L+V」と「V+“在”+L」について

「デ」と対応する「場所」を表す“在”は、「“在”+L+V」と「V+“在”+L」の二つの場合がある。例えば、「図書館で本を読む」は“在 图书馆看书”に翻訳される。しかし、「病院で死んだ」の場合は、「在医院死了”および“死在医院”のような二種の文に翻訳し得る。両者、意味はほとんど変わらない。

では、何故このような現象が起きるのか。以下、「“在”+L+V」と「V+“在”+L」についての例文を具体的に分析することによって、説明していく。

26. 所长は相変わらず、自分の机で眠っていた。(い338)

対訳：所长一如往常地睡在自己的办公桌前。(現302)

27. ととおり、ユーリの怪我の介抱を済ませた理得は、リビングのテーブルで伏して眠ってしまった。(二147)

対訳：理得为了照顾受伤的尤利，就地趴在客厅的桌上而眠。(二146)

今、この二つの文を簡略化して示せば、対訳の前半は「V+“在”+L」であり、後半は「“在”+L+V」となる。前述したように、「“在”+L+V」の文型は、アスペクトに関わる助詞の付加が必要である場合もある。下記の文は、アスペクトを表す“”着“”が付加される文である⁽⁸⁾。

自分の机で眠っていた。睡在自己的办公桌前=在自己的办公室桌前睡。

リビングのテーブルで伏して眠ってしまった。趴在客桌的趴上而眠=在客厅的桌上趴

着睡覺。

このような動詞はいずれも「状態動詞⁽⁹⁾」であり、「V+“在”+L」にも「“在”+V+L」にも用いられる。ただし一方で、この二種類の意味には差があり、「V+“在”+L」という文型はもともと“実現”の意味を持っている⁽¹⁰⁾。この場合の“実現”というのは、動作主が行った動作が（一回で）完成したということである。

「“在”+L+V」については、刘（1995）と侯（1992：182）が同様の観点から共に、この動詞は状態の持続を表すこともできれば、動作の繰り返しを表すこともできるとし、加えて刘（1995）は、後者の文型は実現の意味を持っていないと主張する。また、张（2000：108）は、「V+“在”+L」と「“在”+L+V」の二つの文型について、前者は已然的であり、後者は未然的であると指摘する。さらに、丸尾（2001：88）は、前者は結果の状態を表し、後者は持続の状態を表すものであると述べている。

なお、後者の文型の“在”は、動作の帰着点・到達点を表すことで日本語の「ニ」と対応できるものである。

中国語の“趴（伏す）”“睡（寝る）”のような静態動詞⁽¹¹⁾（状態動詞⁽¹²⁾ともいう）は、ある一定状態を維持することができるため、「“在”+L+V」と「V+“在”+L」との二つの文型が成り立つ。また、静態動詞のうち、“蹲（しゃがむ）”“坐（座る）”“躺（横になる）”“站（立つ）”“跪（跪く）”“趴（伏す）”などのような姿勢を表す動詞も、ほとんどこの二つの文型が成り立つものである。

以下の例文に示す動詞は姿勢を表す動詞ではないが、その動作が行われ、それが表す状態が継続的な意味を持つ場合には、両文型の意味は変わらない。ただし、「“在”+L+V」の場合は、アスペクトに関わる助詞の“了”“着”などのような他の要素の付加によって示されることが可能である。このような動詞には、“出生（生まれる）”“生活（生活する）”“隐居（隐居する）”“病（病気になる）”“死（死ぬ）”“醉（酔う）”“停（（車などが）停まる）”“排（並ぶ／並べる）などがある。

28. 親父は昭和五年に南千住で生れた。(ふ27)

対訳：父亲昭和5年出生在南千住。=父亲昭和5年在南千住出生。(两18)

29. (略) 大学を卒業すると、司法官試補として大阪地方裁判所詰になり、その後ずっと大阪で暮していた。(奔5)

対訳：(略) 大学刚毕业，便作为见习法官任职于大阪地方法院，从此一直生活在大阪。(奔23)

30. 田舎で畑でも耕してのどかにひっそりと。(二232)

対訳：(略) 隐居在乡村耕地种菜。(二232)

31. 老孟在广州病了。(『动词用法词典』1987：51) = 老孟病在广州。

孟さんは広州で病気にかかった。

32. 彼は居酒屋で酔っぱらいになった。(作例)

仮訳：他在酒馆醉了=他醉在酒馆。

6. “在”の有無について

「場所」を表す“在”は、文中に出現する場合もあれば、省略される場合もあるが、徐(1999)と中原(2003)とを参考にした上で、“在”が「義務的 (obligatory)」か否かについて、次のようにまとめる。

なお、A～Dの中国語の文は、徐(1999)より引用したもので、()の中の日本語訳は中原のものである。E～Iは中原(2003)の主張したものである。

6-1. “在”の「必要性」の条件

A. “在+体词+方位词”出现于主谓之间, 同时紧接主语后时, “在”必须出现。

(主語と動詞の間に使われる「“在”+方位詞」構造)(中原2003:77)

33. 他在一个雕刻架前立定了。(徐1999:444)

引用者訳:彼は彫刻台の前に立っていた。

34. 彼が乗ってきたタクシーの運転手はその暑さのなかで辛抱よく待っていていた。(深287)

対訳:載他来的计程车司机在酷热中很有耐心地等他。(深231)

35. 博士は窓辺の指定席、安楽椅子で本を読んでいる。(博200)

対訳:博士在窗边的指定席——安乐椅上看着书。(博190)

B. “在+方位结构”前有副词, 助动词等作修饰成分时

(副詞、助動詞の後ろに使われる「“在”+方位詞」構造)(中原2003:78)

36. 不同的感情可以在语调的变化中表现出来。(徐1999:445)

引用者訳:違う感情は語調の変化で表れる。

37. 夏場、倉庫の狭い更衣室で着替える者はいない。(東6)

対訳:夏天的时候, 没有人会在仓库狭窄的更衣室里更衣。(東6)

38. ほくはアキから見えないように、胸の前で小さく掌を合わせた。(世94)

対訳:我刻意避开亚纪的视线, 轻轻地在胸前合掌。(在94)

C. 一些是定中关系的方位结构

(定着した表現と共に使われる「“在”+方位詞」構造)(中原2003:78)

39. 在前人研究的基础上, 我们深入细致地研究了这种现象。(徐1999:445)

対訳:先行研究を基礎にして、我々はこの現象を深く掘り下げて詳細な研究をした。(中原2003:78)

40. それはつまり、社会のなかで能力に応じて役割を演じるってことだよ。(世70)

対訳:也就是说, 在社会上扮演适合自己能力的角色。(在70)

41. 昨日と同じように夕日のなかで騒がしい町に入る。(深257)

対訳:跟昨天样在夕阳中 入嘈杂的城市。(深207)

D. 一些“在+方位结构”在谓语后或“谓+N受”

(動詞、兼語文の後ろに使われる「“在”+方位詞」構造)(中原2003:78)

42. 他怎么会留你在那里呢?(徐1999:445)

引用者訳:彼はなんであなたをあそこに残したの。

43. (略)彼はそこに倒れて朦朧としてくる意識のなかで思った。(深141)

対訳:他倒在那意识朦朧中这么认为。(深112)

E. “在+方位结构”修饰某些由动结式, 动趋式等词语充当的谓语时。

(文成分の修飾関係条件である。特定の複合動詞を修飾する「“在”+方位詞」構造)(中原2003:78)

44. 在战争中能够看出民心来的人, 在政治生活中就看不出来了。(徐1999:446)

引用者訳:戦争の中で、民の心が見える人は政治の生活の中では見えなくなる。

45. 満員電車でわが横のシートに軽い手荷物をわざと置き、(略)(百言百話)

対訳:在挤满了人的电车上有意把随身帶的小包放在自己的座位旁,(略)

46. 機内でこの本をひろげた。(深37)

対訳:在飞机上打开那本书。(深25)

F. 「“在”+場所詞」構造においては、文中の動詞が“非実义动词”、つまり「心理活動を表す動詞」の場合、介詞“在”は「必要性」である。

47. 在中国, 虽然人人都羡慕我, 说我命好。(中原2003:80)

対訳:中国ではみんな私のことを羨ましがり、私の運がよいからと言う。(中原2003:80)

48. その笑みの下で、体が辛いことが手にとるようにわかる。(ピュ336)

対訳:在那样的笑容背后, 正夫了解杏子强忍着身体的痛楚。(美343)

49. 南は、そのわずかな沈黙の中で、自分の気持ちが瀬名に伝わりそうな気がして怖かった。(口285)

対訳:(略)在那种些微的沉默中, 南很害怕自己的心意会传递到瀬名那,(略)(长376)

G. 介詞「“在”+方位詞連語」構造が文中で条件を表すときは、「必要性」である。

50. 在别人的劝说下, 我才出来要点钱。(中原2003:80)

対訳:他人に口説かれて、私はついに乞食になった。(中原2003:80)

51. カメラの前で固まっちゃうと、同じ写真ばっかりになっちゃうでしょ。(口70)

対訳:如果在相机前都不动的話, 照出来的感觉就会都一样哦!(长70)

H. 発生や消失、到達が及ぶ特定の場所を表す介詞“在”は「必要性」である。

52. 在流浪中活着, 成长着, 在人生的大海中沉下去, 浮上来, 挣扎着。(中原2003:

82)

対訳：放浪の中で生きて、成長し、人生という大きな海に沈み、また浮かびあがり、必死にもがいている。(中原2003：82)

53. そのうち、古本屋で神経精神学の本を見つけると、(略) (文157)

対訳：不久，在旧书店发现一本神经精神学的书，(略) (文上131)

I. 介詞“在”は場所詞を“这”や“那”などの指示代名詞で限定する時は「必要性」となる。

54. 在这架飞机上，有一对年轻夫妇并肩坐在一起。(中原2003：82)

対訳：この飛行機に、肩を並べて座っている若夫婦が一組いる。

55. その笑みの下で、体が辛いことが手にとるようにわかる。(ピュ336) (=4.15)

対訳：在那样的笑容背后，正夫了解杏子强忍着身体的痛楚。(美343)

56. 私と息子が博士から教わった数えきれない事柄の中で、ルートの意味は、重要な地位を占める。(博3)

対訳：博士曾经教过我和儿子数不清的事，在这些数不清的事中，根号的地位是无可取代的。(博4)

上記のEでは、「在+方位结构」修饰某些由动结式，动趋式等词语充当的谓语时：文成分の修飾関係条件である。特定の複合動詞を修飾する「在+方位詞」構造(中原訳)と徐が主張している。

しかし、例(52)“在飞机上打开那本书”の“打开”は複合動詞であるが、文成分の修飾関係条件でなくても、場所を表す“在”が必要である。むしろ、この文の“打开”は意志的な動作と見なしてもよいだろう。意志的な動作が行われる場所を表す“在”は「必要性」となると考えられる。次に示す例文はいずれも意志的な動作の例文であり、主語があれば、Aで述べたように、主語と動詞の間に使われる「在+方位詞」構造で表されるが、これらの場合では、主語がないとはいえ、“在”は依然として不可欠と見られる。

57. 受付で先生の部屋を訊ねる。(い345)

対訳：在柜台间了老师的房间。(現310)

58. 空港で、ちゃんと話せなかったから。(口246)

対訳：在机场没有说清楚。(长323)

59. (略) 高級料亭で男性客をもてなします。(日161)

対訳：(略) 在高级料亭接待男客人。(日160)

以上にまとめた先行研究の指摘以外で、本稿の扱っている実例を分析してみた結果、以下のような場合にも、動作が行われる場所を表す“在”は必須であると考えられる。

(1)「連動文¹³⁾」の場合、後ろの動作が行われる場所を表す“在”が必要であると考えられる。

60. サミルはユーリの膝の上で息絶える。(二7)
対訳：(略) 萨米尔倒在尤利的膝上气绝身亡。(二7)
61. 柗二は近くの公園に入っていき、ベンチで煙草を吸い出した。(ビュ60)
対訳：柗二走 附近的公园，坐在长椅上抽烟。(美55)
62. 畳でおじぎをするときは、手の甲を畳の面にむけ、手の甲を浮かせて頭をさげた。
(文98)
対訳：必須跪在榻榻米上行礼的时候，他会将手背朝下再点头行礼，(略)(文上77)

(2) 「“是…的”構文⁽¹⁴⁾」の場合にも、場所を表す“在”が必要となると考えられる。

63. こいつ、アフリカで捕れたんです。(深120)
対訳：这家伙是在非洲捉到的。(深95)
64. タクシーでニュースを聞いて。(二130)
対訳：我是在计程车上听到新闻的。(二129)
65. 伝統的芸術であるお茶や生け花は畳の上で行われます。(日297)
対訳：传统的艺术中的茶道或花道，都是在榻榻米上 行的。(日296)
66. 吉祥寺の駅ビルで買ってもらった。(い143)
対訳：是在吉祥寺的车站大楼买的。(現131)

(3) “”把”構文⁽¹⁵⁾”にも“在”が必要である。下記の例文は、動作主が省略される場合でも、“在”は省略されない。下記の例(67)～(69)の中国語訳文には、「動作主」がある場合は「a.主語と動詞の間に使われる「“在+方位詞”」という項目に当てはまるが、「動作主」がない場合、“把”“将⁽¹⁶⁾”構文の“在”は省略されると不自然な文になる。

67. 両手を胸のあたりでひらひらさせた。(い352)
対訳：将双手在胸前挥了。(現316)
68. 女たちはそれぞれガートの露店で買った花びらを木の葉にのせて水に流している。
(深341)
対訳：女性们各自把在摊贩买来的花瓣放在树叶上 水流走。(深278)
69. 瀬名はコンビニで買った物を綺麗に冷蔵庫にしまった。(口12)
対訳：瀬名把在便利商店买的東西井然有序地放 冰箱。(長16)

(4) 中国語では「昨日」「明日」などのような明確な時間名詞が文の先頭にある場合は、その後から来る場所を表す“在”が必要とされる。

70. 昨日は雨の中、傘さして、庭に出てみましたが(略)(「現代日本語書き言葉均衡コーパス」) = (例93)
仮訳：昨天在雨中撑着伞到院子里，(略)

6—2. “在”の「任意」の条件

「空間」を表す「ア」は、国語の介詞“在”と対応するのが普通であるが、その“在”を省略することも可能である。徐（1999：443-452）を参考にした上で、“在”が任意とされる条件を次のようにまとめる。

(a) 主語の前にある「“在”＋方位詞」の場合は“在”が現れるかどうか任意である。

71. 在科学上，坐享其成是行不通的。(徐1999：447)
引用者訳：科学では、苦勞もなく成果を出そうとするのは通じない。
72. 電話で言いそびれたんですが、ひとこと謝罪がしたくて。(二198)
対訳：电话中不方便说，我是专程来向你道歉的。(二198)
73. 転生ですか。私は謔言を言った夜。実はね、こんな夢を見たのです。今でも憶えています。夢のなかで戦友が私の前に苦しそうに現われ、その苦しい占有をガストンさんが抱きかかえている夢です。(深324)
対訳：转世？我说梦话的那个晚上，其实，我是做这样的梦：我现在还记得，梦中，战友出现在我的面前，很痛苦的样子，是加斯頓抱着我，那痛苦的战友。我想加斯頓战友是一体的。(深265)

(b) 主語の無い文の前に「“在”＋方位詞」の“在”が現れるかどうかは任意である。

74. 聊天中，可以窺探到他不住地在对以往这几十年的历史 行反思。(徐1999：447)
対訳：雑談の中で、彼がこれまでの何十年間のことについて、絶えず反省していることが伺えた。(中原2003:79)
75. 静かにその部屋の扉を閉じた。何かがひとつ、瀬名の中で終わっていった。(ロ242)
対訳：然后，他悄悄地关上那房间的门。此时瀬名心中，忽然有种莫名的失落感涌现。(长319)
76. 葉書で親戚、知人などに安否を問うとともに、(略) (日267)
対訳：在明信片上，除了向亲戚，朋友请安之外，(略) (日266)
77. 沼田は病室の灯を消し、人生のなかで本当に対話をしてきたのは、結局、犬と鳥とだけだったような気がした。(深130)
対訳：沼田关掉病房的灯，觉得人生中，真正能够对话的，只有狗或鸟。(深103)

(c) 「“在”＋述語＋方位詞」の形で、“在”が現れるかどうかは任意である。

78. 队伍 (在) 突围中牺牲了几十名战士。(徐1999：448)
引用者訳：戦列は突くときに何十人かの戦士を犠牲にした。
79. 历史上凡成绩卓越的人物，(在)学习上无一不是刻苦认真，废寝忘食的。(徐1999：448)
引用者訳：歴史上で成績が卓越している人物は、すべて学習の上で苦勞して真面目で、物事に熱心に取り組んでいる人である。

(d) 「動詞 + “在” + 方位詞」の場合、“在”を省略することが可能である。

80. 书包挂(在)墙上了。(中原2003:79)
対訳: ランドセルが壁にかかっている。(中原2003:79)
81. 请你把那些衣服都拿过来放(在)洗衣机里。(中原2003:79)
引用者訳: それらの服を持ってきて洗濯機の中に入れてください。
82. 美女坐地板上喝茶。(www.nipic.com/photo/zhuanti/503295.html (2011年02月13日) 確認)
仮訳: 美女は床にすわってお茶を飲む。
83. 薰が上で寝てええねんで。(さ105)
対訳: 薰, 你睡上面没关系。(櫻74)

日本語では連体修飾句の中で、場所を表す「デ」は必要とされるが、この場合に対応する中国語の“在”は省略される傾向があることが、以下の実例から検証される。

84. ナースセンターで顔なじみになった田中と言う主任看護婦が、カルテに何かを書き込んでいたが、(略) (深14)
対訳: 护士中心熟识的田中护理长, 正在填写病历卡, (略) (深6)
85. 眼前で眠っている妻が三、四ヵ月後、確実に死ぬのだ。(深14)
対訳: 眼前睡着的妻, 三, 四个月后确定会死。(深6)
86. ほくはポケットを探って街頭で手渡されたキャッシング会社かどこかのティッシュを取り出した。(世156)
対訳: 我探探口袋, 取出一包街上拿的, 不知道是哪家融资公司发的面纸。(在153)
87. 食堂でホテル従業員たちと磯辺が画面を注目していると、(略) (深334)
対訳: 餐厅里的饭店人员和矶边注视着画面, (略) (深272)
88. 膝掛の下で握っていた聡子の指に、こころもち、かすかな力が加わった。(春113)
対訳: 清显感到围毯下面握着的聪子的手指增加了一点力量, 传来了她的心绪。(春97)

おわりに

以上、日本語の場所を表す「デ」を中国語の“在”と詳細に対応させた結果、場所を表す“在”のみならず、時間または範囲を表す“在”とも対応する場合のあることを明らかにした。また、先行研究を踏まえつつ、文法や構文などの条件によって、“在”に「義務的 (obligatory)」や「任意的 (optional)」という特徴が認められることも明らかとなった。

しかし、中国語の“在”の出現の可否が、果たして文法や構文などの条件に限られるのかどうかについては、今後さらに検討する余地がある。また、場所を表す「デ」は、単に中国語の“在”と対応するだけでなく、ほかの介詞や動詞などとも対応することを、より多角的かつ系統的に掘り下げることも必要であると考えている。

さらに、次に掲げる例 (89) ~ (91) などの「デ」は、省略の可否について任意とされ

るものだが、中国語では“在”がなければ不自然な文と見なされる。また、例(92)～(93)のように、日本語では「デ」が現れないのに、中国語では“在”が必ず必要な場合もある。このような問題についても、今後、より多く事例を収集し、さらに分析を深化させながら考究していく必要がある。今後の課題としたい。

89. 煙草を吸いながら、暗闇の中でぼんやりひとり佇んでいる。(口165)

対訳：只见他抽着烟，在昏暗的夜色中呆立着。(长219)

90. それから、サチは部屋中に満ちたレモンの香りの中で、堰を切ったように泣き出し、收拾つかなくなった。(ピュ331)

対訳：之后佐千在飘着柠檬香味的病房里，眼泪如河水 堤般。(美337)

91. 樹や鳥の囁りや、ゆっくりと葉々を動かす風のなかでその生命が交流している。(深331)

対訳：树木，小鸟的啼啭在微微拨动树叶的风中 行生命的交流。(深270)

92. 雪の中、ランチに出かけます。(「現代日本語書き言葉均衡コーパス」)

仮訳：在雪中出去买午餐。

93. 昨日は雨の中、傘さして、庭に出てみましたが(略) (「現代日本語書き言葉均衡コーパス」) = (例70)

仮訳：昨天在雨中撑着伞到院子里，(略)

【注】

- (1) 例1. 借りた金で吉原へ行って牛肉を食い、浅草で酒を飲んで女を買った。(文231)
対訳：借了钱就到吉原吃牛肉，到浅草喝酒买女人，(略) (文上200)
- 例2. T Vで見て、自動改札の存在そのものは知っていた。(い340)
対訳：我从电视上看过自动剪票机，(略) (现306)
- 例3. 浅草で遊んだとき、啄木とカステラを食ったかもしれず、(略) (文220)
対訳：北原白秋前往浅草时，或许曾和石川啄木吃过蜂蜜蛋糕，(略) (文上189)
- (2) 原田 (1990: 41-48)
- (3) 田中 (1986)、小学館 (1992)、侯 (1998)、张斌 (2001)
- (4) 「用在不及物动词前后，表示动作状态存现的处所」张斌 (2001: 685)
- (5) 侯 (1999: 722)、相原 (1996: 245)
- (6) 张斌 (2001)
- (7) 中川 (1990: 222)、侯 (1992)
- (8) 「意図性のある」動詞は「“在” + L + V」の形で表す時、アスペクトに関わる語が付加されることが必要である (丸尾2005: 92)。
- (9) 「状態動詞」について、侯 (1992: 88) は、「状態動詞既可表某种动作，又可表达一动作完成后的状态 (状態動詞はある動作を表すこともできれば、動作を行った後の状態を表すこともできる [引用者訳])」と述べている。
- (10) 刘 (1995)
- (11) 丸尾 (2005: 85) は、静態を「静止状態にある存在」と解釈している。

- (12) 荒川 (1980:22) によれば、「躺, 坐, 蹲, 趴, 放, 站, 住, は、単純に日本語と対応させて考えると瞬間動詞のようだが、実際にこれらの動詞が使われるのは、“V在” “V着” のような“在”“着”と結合してであり、動詞そのものについては、〔+状態的〕な接辞がつかない場合 bound form ともいえるものである」と説明されている。
- (13) 『ディズニーランドへ行って遊ぶ』『家へ帰って食事する』などのように、動作の行われる順に動詞（フレーズ）が連なって現われる構造の文を「連動文」と言う。（相原1996:96）
- (14) 「“是…的”構文」とは、ある動作・行為が既に発生したこと自体は明らかで、更にもその動作・行為の行われた時間、場所、方式等を特に取り立てて述べるものである。（相原1996:134）
- (15) 「“把”構文」とは本来動詞の後ろに置かれる目的語を、介詞“把”の目的語として動詞の前に置き、この介詞フレーズが動詞に対して状語*の働きをする構造をいう。例：他把窗户关上了一彼は窓を閉めた。她把作业做完了一彼女は練習問題をやり終えた。（相原1996:295-300）
- ※述語の修飾成分、すなわち連用修飾語は、状語と呼ばれ、普通は動詞や形容詞の前に置かれ、述語動詞、形容詞といっしょに述部を構成する。（相原1996:70）
- (16) この場合の“将”は“把”と同じ意味を表す。

【参考文献】

- 相原茂他 (2004) 『東方中国語辞典』東方書店
- 相原茂他 (1996) 『中国語の文法書』同友社
- 赤羽根義章 (1987) 「格助詞「に」と「で」について—文法指導の視点から—」『日本語学』(5)、82-94 明治書院
- 浅山友貴 (2000) 「場所ニとデの差異をめぐって」(12)、83-106、東京大学留学生センター 紀要、東京大学留学生センター
- 荒川清秀 (1980) 「中国語の状態動詞」『愛知大学文学論叢』、1-26、愛知大学文学会
- 王占 (1996) 「处所短语句的蕴涵与“在”的隐现」『大阪市立文学部紀要人文研究』、31-54、大阪市立文学部
- 神尾昭雄 (1980) 「「に」と「で」<日本語における空間的位置の表現>」『月刊言語』Vol.9, No.9, 55-63, 大修館書店
- 侯学超編 (1998) 『现代汉语虚词词典』北京大学出版社
- 侯敏 (1992) 「“在+处所”的位置与动词的分类」『求是学刊』(6)、87-92、求是学刊编辑部编辑
- 小学館編 (1992) 『中日辞典』小学館
- 徐国玉 (1999) 「“在”格的“在”的隐现」『現代中国語研究論集』、443-452、中国語書店
- 鈴木英夫・王彦花 (1987) 「場所を表す名詞につくデ・ニ・ヲの用法の異同について」『茨城大学人文学部紀要人文学科論集』(20)、39-62、茨城大学人文学部編
- 孙满绪 (1991) 「动词和表示空间场所的“で”和“に”」、(66) - (72) 『日語学習与研究』

(2)、日語学習与研究雜誌社

- 田中清一郎 (1986) 『基本中国語文典』白水社
- 张斌编 (2001) 『现代汉语虚 词典』商務印書館
- 张黎 (2000) 『漢語範疇語法論集』中国書店
- 储泽祥 (1996) 「“在”的涵盖义与句首前“在”的隐现」《汉语学习》(4)、33-36、汉语学习编辑部
- 中右実 (1995 a) 「『に』と『で』の棲み分け一日英語の空間認識の型 (1) —」『英語青年』Vol.140, No.10研究社
- 中右実 (1995 b) 「『に』への認知転換一日英語の空間認識の型 (2) —」『英語青年』Vol. 140, No.11研究社
- 中川正之 (1990) 「中国語と日本語一場所表現をめぐる」『講座日本語と日本語教育』(12)、219-240、明治書院
- 中原裕貴 (2003) 「介詞“在”の有無について」『日中言語対照研究論集』、74-90、白帝社
- 原田寿美子・滑本忠 (1990) 「“在”に対応する日本語の格助詞」『名古屋学院大学外国語学部論集』Vol.2, No.1, 41-48, 名古屋学院大学外国語学部
- 丸尾誠 (2005) 『現代中国語の空間移動表現に関する研究』白帝社
- 水野義道 (1988) 「場所を示す中国語の介詞〈在〉と日本語の格助詞「に」「で」」『日本語教育』(62)、105-117、日本語教育学会
- 孟琮编 (1987) 『动词用法词典』上海辞书出版社
- 守矢信明 (1983) 「場所の格助詞《に》と《で》の統辞論的特性——動詞との関係からみたふるまい——」(24)、59-75、香川大学一般教育研究香川大学一般教育部編
- 刘一之 (1995) 「“V在~”和“在~V P”」『聖徳学園岐阜教育大学紀要』、179-189、聖徳学園岐阜教育大学
- 林齐倩 (2003) 「介引处所的介词“在”的隐现」『中国文化論叢』、124-136、帝塚学院大学中国文化研究会
- 吕叔湘 (1992) 『中国語文法用例辞典』東方書店

【用例出典】

- 嵐山光三郎 (2000) 『文人悪食』新潮文庫 (訳本:『文人的飯食生活 (上)』孙玉珍/林佳蓉 译 宜高文化) (文上)
- 市川拓司 (2003) 『いま、会いにゆきます』小学館 (訳本:『现在, 很想见你』王蕴洁 议 皇冠出版) (い)
- 五木寛之 (1990) 『青春の門 再起編』講談社 (訳本:『青春之门』李永江/光赤/葛学家 译 时代文艺出版社) (青)
- 遠藤周作 (1996) 『深い河』講談社文庫 (訳本:『深河』林水福 译 立绪文化) (深)
- 小川洋子 (2003) 『博士の愛した数式』新潮社 (訳本:『博士熱愛的方式』王蕴洁 议 麦田出版) (博)
- 片山恭一 (2001) 『世界の中心で、愛をさけぶ』小学館 (訳本:『在世界的中心呼喊愛情』

物嵐 议 时报出版) (世)

唐沢寿明 (1997) 『ふたり』 幻冬舎 (訳本: 『两个人』 蕭照芳 译 东贩出版) (ふ)

北川悦吏子 (1996) 『ロングバケーション』 角川書店 (訳本: 『长假』 林芳儿 译 台湾角川出版) (ロ)

———— (2002) 『ビューティフルライフ』 角川書店 (訳本: 『美麗人生』 蔡丽文/叶小燕 译 台湾角川书店) (ビュ)

藤本有紀他 (2002) 『二千年の恋』 角川文庫 (訳本: 『两千年之恋』 魏裕梅 译 台湾国际角川) (二)

本名信行・Bates Hoffer (1996) 『日本文化辞典』 鴻儒堂出版社 (訳本: 同書 江资航/陈明钰 译) (日)

三島由紀夫 (1977) 『奔馬』 新潮文庫 (訳本: 『奔马』 许金龙 译 木马文化) (奔)

中日対照コーパス第一版 (2003) 北京日本学研究中心

現代日本語書き言葉均衡コーパス (2006) 国立国語研究所

※中国語については、便宜上すべて簡体字で表示する。

※本稿における「仮訳」と「作例」は、中国語の場合は中国語話者、日本語の場合は日本語話者がそれぞれ作成したものである。

(りょう・いくぶん 千葉大学大学院人文社会科学研究所特別研究員)